

平成29年度 群馬県中学校総合体育大会
第67回柔道大会要項

1. 主催 群馬県中学校体育連盟 群馬県教育委員会 前橋市教育委員会
群馬県中学校長会
2. 後援 群馬県市町村教育委員会連絡協議会 (公財) 群馬県スポーツ協会
群馬県柔道連盟 上毛新聞社 群馬テレビ FM GUNMA
3. 会期 平成29年 7月29日(土) 8:30 集合 (受付、計量、審判・監督会議)
10:00 開会式、団体戦 ※検査は10:00まで
7月30日(日) 8:30 集合 (受付、計量、審判・監督会議)
10:00 開会行事、個人戦 ※計量・検査は10:00まで
16:00 閉会式(予定)
4. 会場 ALSOKぐんま武道館大道場(前橋市関根町800) 電話 027-234-5555
5. 参加資格 (1) 群馬県中学校体育連盟に加盟した学校に在学し、当該校校長の参加許可を得た生徒であること。
(2) 各郡市中学校体育連盟の予選を通過した生徒、もしくは当該競技部で推薦された生徒であること。
(3) 参加資格の特例: 学校教育法134条の各種学校(1条校以外)に在籍し、群馬県中学校体育連盟が参加を認め、所在する郡市中学校体育連盟の予選大会を経て、参加資格を得た生徒であること。
6. 参加費 参加生徒1名につき、100円の参加費をプログラム編成会議時に徴収する。ただし、団体、個人に重複する生徒については1名分とする。
7. 監督・引率 参加生徒の監督・引率は、出場校の校長・教員とする。
8. 外部コーチ (1) 当該学校の学校長が認めた外部コーチがいる場合は、ベンチに入ることができる。(1名)
(2) コーチの申請は、県中体連外部指導者ベンチ入り規程による。
(3) 全日本柔道連盟が認定する指導者資格を有するものとする。
(4) 規程を遵守し、規則違反、不適切な言動があったときは、不適格者として資格を取り消すこともある。
9. 参加制限
男子団体戦 (1) 参加は24校とし、中体連競技部事前調査により県大会出場校数を決定する。
(2) 1チームは監督1名、コーチ1名(コーチとは外部コーチ及び副顧問)、選手5名、補員2名とする。
(3) 編成は体重が最も重いものを大将とし、以下順次体重順におこなう。選手が5名に満たない場合にも同様におこない間に欠員をおいてはならない。
(4) 補員の充当により抜けた選手は、以後の今大会の団体戦には再び出場出来ない。
女子団体戦 (1) 参加は24校とし、中体連競技部事前調査により県大会出場校数を決定する。
(2) 1チームは監督1名、コーチ1名、選手3名、補員1名とする。
(3) 編成は男子と同様とする。
(4) 補員の充当は男子と同様とする。
男女個人戦 (1) 男子階級は、50kg(50kg以下)、55kg(50kg超55kg以下)、60kg(55kg超60kg以下)、66kg(60kg超66kg以下)、73kg(66kg超73kg以下)、81kg(73kg超81kg以下)、90kg(81kg超90kg以下)、90kg超の8階級とする。
(2) 女子階級は、40kg級(40kg以下)、44kg(40kg超44kg以下)、48kg(44kg超48kg以下)、52kg(48kg超52kg以下)、57kg(52kg超57kg以下)、63kg(57kg超63kg以下)、70kg(63kg超70kg以下)、70kg超の8階級とする。
(3) 各階級は、推薦出場者(強化部より)を除き、各地区中体連より階級ごとに1名が出場出来る。
※男女個人戦において、男子は各階級とも16名、女子は各階級8名の出場者数につき地区の代表者数を1名追加とする。
10. 競技規則 国際柔道連盟試合審判規定(2017~2020)および国内における「少年大会特別規定」、全柔連が定める団体戦の勝敗決定方法、「県中体連柔道部申し合せ事項」によって行う。
11. 競技方法
団体戦 (1) 参加チームを1組3チームのリーグに分け、各組で予選リーグ戦を行い、各組の上位2チーム、16チームによるトーナメント戦を行う。
(2) 優勢勝ちの判定基準は「技有」または「指導」差が2あったときとし、その内

- 容に満たない場合は「引き分け」とする。「指導」差が2あった場合、「指導」の少ない選手を勝ちとする際の名称を「僅差」勝ちとする。
- (3) リーグ戦におけるチーム間の勝敗は、次の順により決定する。
 (ア) 勝ち数による。
 (イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。
 (ウ) (イ)において同等の場合は、「技有による勝ち」の数による。
 (エ) (ウ)において同等の場合は、引き分けとする。
- (4) リーグ戦の順位は、次の順によって決定をする。
 (ア) チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
 (イ) (ア)において同率の場合は、勝ち数の合計による。
 (ウ) (イ)において同等の場合は、勝ちの内容による。
 (エ) (ウ)において同等の場合は、負け数の合計による。
 (オ) (エ)において同等の場合は、負けの内容による。
 (カ) (オ)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。
 ただし、3校同等の場合は、代表選手3名によるリーグ方式を行う。
- (5) トーナメント戦におけるチーム間の勝敗は、次の順によって決定する。
 (ア) 勝ち数による。
 (イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。
 (ウ) (イ)において同等の場合は、「技有による勝ち」の数による。
 (エ) (ウ)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。
- 個人戦
 (1) 各階級別にトーナメント戦を行う。
 (2) 優勢勝ちの判定基準は「技有」以上とする。

12. 代表者会議 平成29年 7月24日(月) 午前9:30 会場:吉岡中学校

13. 参加申し込み 代表者会議までに所定の申込書を提出して申し込む。
 (詳細は、各地区委員長へ配布の申し込み要領による。)

14. 表彰 (1) 団体戦 優勝チーム以下3位までの4チームに賞状を授与する。
 (2) 個人戦 体重別に優勝者以下3位までの4名に賞状を授与する。

15. その他 (1) 団体戦の対戦用に右のメンバー表1枚を (メンバー表)
 当日受付に提出する。

先	次	中	副	大	学
					校
					名
					補
					員
					員

(模造紙縦1/4)

(2) 選手は規定のゼッケンを付ける。
 (ゼッケンのない者は出場出来ない。)

(ゼッケン) 30 ~ 35 cm

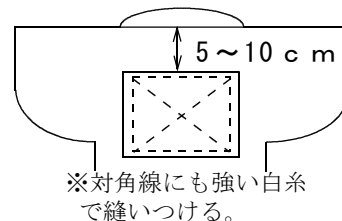
(3) 選手の柔道衣は、全柔連認証柔道衣とする。
 ただし、帯についてはその限りではない。女子の黒帯については白ライン入りのものとする。

25 ~ 30 cm

下	田
月	夜
野	

(4) 相手を威圧するような行為(染髪・眉剃り等)をしてはいけない。

(5) 監督・コーチは審判員に準じた服装をし、所定の場所に位置する。
 (6) 選手・監督・コーチはもちろんのこと、応援者においても、大会運営の妨げになるような言動は慎む。試合会場内には役員・係員・選手等認められた者以外は入場できない。



(7) やむを得ない理由で大会前に選手が出場出来なくなった場合の選手変更は、選手変更願を提出する。

(8) 男女団体戦優勝校と男女個人戦の各階級優勝者は全国大会に出場する。

(9) 男子団体戦上位4校、女子団体戦上位3校、男子個人戦上位3名及び女子個人戦上位2名は関東大会に出場する。

(10) 関東・全国大会出場者は8月1日(火) ~ 2日(水)の強化合宿に参加する。

(11) 関東・全国大会に他競技で出場する選手は、本大会に出場できない。

(12) 脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。

①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医【脳神経外科】の精査を受けること。)

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

16. 連絡先 〒379-1313 群馬県利根郡みなかみ町月夜野80番地
 みなかみ町立月夜野中学校 下田 勝己
 TEL 0278-62-1605 / FAX 0278-62-1615